

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年3月27日

事業所番号	2771602063	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	特定非営利活動法人エコロジーネットワーク		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	エコ吹田	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	吹田市南金田2丁目3番1号	評価調査日	平成 21 年 3 月 23 日
	電話 06-6192-1771	評価確定日	平成 21 年 3 月 30 日

【情報提供票より】 (平成21年 3月 5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年3月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数 18人
職員数	常勤 2人 非常勤 5人 常勤換算 5.6人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨造り 4階建ての(2階～3階部分)
-------	------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	42,000円	その他の経費 (月額)	22,050円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 300,000円	償却期間	1年	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200円	

(4) 利用者の概要 (3月6日現在)

利用者人数	15名	男性	1名	女性	14名
要介護1	5名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	1名		
年齢 平均	77才	最低	67才	最高	97才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東野クリニック 小林デンタルクリニック
---------	---------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

起床・就寝を介護者に合わせるのではなく、利用者個々のペースに合わせた介護が行われ、1階には中庭が設けられて、利用者のくつろぎの場として利用している。又、自治会へも加入し、地域の情報収集も適切に行われ、更に、地域の小・中学校との交流があり、利用者の癒しとなっている。今後は、運営推進会議の開催を定期的に行い、記録を残すことを期待します。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	新人研修を実施し、職員の教育を行っている。フロア制となっているが、研修のひとつとして各階の職員が、定期的に別のフロアで介護をすることにより、利用者の状況を全職員で把握することができている。災害対策については、消防署員の指摘に従い、職員・利用者参加の避難訓練を実施することが望ましい
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	職員のレベルアップを図るため、外部研修への参加や、ホーム内での研修が増えている。又、職員中心の介護から利用者本位の介護が行われているが、職員数が少ないため危機管理への取り組みにも力を入れていただきたい
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議では、利用者やご家族の意向について話し合われている。ただし、2ヶ月に1回は開催されておらず、今後は定期的の実施し記録を残していただきたい
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ご家族の意見や不安には、管理者を通じて話し合い、解決している上、職員にも連絡ノートで周知されている。月に1度は、利用者の写真や手紙を送り、ご家族の不安の軽減に努力している
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	3ヶ月に1度、民生委員が訪れ、地域の行事への参加や、ホームへの理解を求めている。又、地域の小・中学生との交流もあり、年賀状のやり取りなど、地域に溶け込むように努力している

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	2階・3階のフロアに大きく理念を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が目につくところに掲示し日々、職員が共有できるようにしている		
2 地域との支えあい					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、民生委員も3ヶ月に1度、訪問があり、行事へも参加している		近隣の小学生がボランティアでホームを訪れ、年賀状のやり取りを行うなど努力している
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を職員全員に閲覧してもらい、改善点について話し合っている		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	2～3ヶ月に一度開催し、話し合いながら、サービスの向上につなげる努力をしている		
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のご担当者には、必要な時には連絡を取り合い、話し合いの場を持ち、サービスの向上に努めている		
4 理念を実践するための体制					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月の請求の発送時に、利用者の近況を手紙にし、写真をいっしょに添えて、ご家族と連絡をしている		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているが、臨機応変に、ご家族の来訪時や、電話での対応が行われている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2階・3階で職員を固定するようにはしているが、研修を兼ね、職員を異動させている。そのことにより、全職員がすべての利用者を把握できるように努力している		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入所時に新人研修として、半月から1ヶ月、ベテランの職員に指導させている。また、外部の研修にも参加している		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流と外部研修参加により、マニュアル作り、チェックリストの作成を行い、運営に反映している		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居を通じて、ほとんどの利用者が入居している。		
--	-------	--	---------------------------	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	掃除・洗濯・食事作りを職員と共にいき、自然と会話がはずみ、活気が感じられる		
--	-------	---	---------------------------------------	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	起床や就寝の時間は、ほぼ定めているが、利用者の希望を取り入れるよう配慮している		
--	-------	---	---	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員間の意見を反映させて、利用者に向けた介護計画を作成している		
--	-------	--	---------------------------------	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月に一度、カンファレンスを行い、計画の見直しを行っている。また、退院時にも計画の変更が必要な時には、随時、計画の変更をしている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	職員の勤務調整を行い、病院受診など対応ができています		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	2週間に一度往診があるが、それ以外にも、24時間対応できる体制が整っている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	管理者及び職員が本人やご家族の意向を把握し、かかりつけ医と連携を密にし、全員で取り組む意向である	○	管理者・職員及びかかりつけ医との間でよく話し合い、本人・ご家族が納得のいく体制作りを行ってください
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	利用者が人生の先輩であることを職員が理解し、声かけに注意を払い、プライバシーについても十分、配慮されている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床・就寝がある程度自由なため、食事時間も個人に合わせて行っている。利用者中心の生活が充実している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	協力できる方には、食事の準備や、後片付けを行ってもらっている。また、食器にも工夫がなされ楽しい雰囲気を作っている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		
			毎週、火・土（夏は3日）午前中から午後4時頃まで、自由に入浴できるよう配慮している		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている		
			公園やスーパーへの買い物を通じて、利用者の楽しみや気晴らしの支援を行っている。また、音楽療法を取り入れて、利用者の残存能力を活かせるよう努力している		
	25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している		
			頻繁に外出が出来ているわけではないが、2階の利用者が3階を訪問したり、3階の利用者が2階を訪れるといった工夫をしている		

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		
			建物の構造上、玄関の施錠はやむを得ないので、ご家族にも理解を得ている		
	27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		
			年2回の消防訓練を実施している。	○	消防署員立会いのもと、職員及び利用者参加の実践的な訓練を行ってください

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		
			利用者の状態を把握し、本人に合った食事が提供されている		

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		
			利用者が共用空間で楽しめるよう、座ったままでも安楽な姿勢を保てるように工夫している。リビングには、臥床できるようなソファベッドが置かれている		
	30	83	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		
			各居室は、利用者の使い慣れた家具を使用し、整理され清潔感がある		